



浦添市体育協会創立50周年を祝う

浦添市体育協会創立50周年記念実行委員会

実行委員長 宮城 清次郎

創立50周年を成功させよう！の主旨で記念事業実行委員長を引き受け3年、いよいよ節目の年を迎えました。この間、「成功」を唱えつつ数多くの事業遂行に取り組みをして参りました。いよいよ、最後の記念事業、記念誌の発行と式典、祝賀会の開催です。

戦争により全てが廃化し失望のどん底より、いち早くスポーツ復興を目指した先人達の企画により、翌年の昭和22年11月には、第1回目の村内陸上競技大会が各字対抗で実施され多くの声援で活気が徐々に地域にこだました。

戦前、浦添村は競技スポーツに弱く、「浦添間切りや13番」の汚名を着せられた。しかし、戦後における青年活動や、村体育協会の発足で定期的な各字対抗の陸上競技会や排籠球大会などを開催する事により、若手スポーツマンが台頭し始め、コザ地区大会や後の中頭郡大会において連勝し、浦添強し、スポーツ王国浦添の名を轟かせ始めた。

浦添スポーツの立て直し役を積極的に引き受け、リードして頂いた諸先輩方に改めて敬意を表する次第です。現在も競技力の向上は引き継がれ、県を代表する優秀選手が続々と現れ、各種競技で大活躍をしておりますことはご承知のとおりです。

反面50年に及ぶ間、これまでの記録が刻明に整理されておらず、この節目に各種競技団体ごとに沿革を辿って発行したのが50周年記念誌です。言葉は消え、記憶も定かでなくなるが、文字は消え失うことはない。歴史書を振り返るに、日々の記録があるからこそ今日の文化があり、継続されている。

ここに50年の集大成として浦添スポーツの記録、沿革をまとめ上げることが出来、発行する機会を得たことは、将来の市スポーツ構図を知る上で貴重な資料、財産となり、後世に大きく役立つものと実行委員面々も誇りとしています。

創立50周年を迎えるにあたり、資金調達のためのチャリティーゴルフ大会、ボート大会、記念ボトル販売、スポーツ講演などを実施して参りました、参画御協力頂いた行政、市民の皆様には厚く御礼を申し上げます。また、記念誌の発行に際し、資料の御提供、資料の収集に奔走下さった競技団体の役員、記念誌部会の委員各位、さらに総務、事業部会のみなさんには自らの多忙さを顧みず事業遂行に一丸となってお協力頂きました。

重ねて御礼を申し上げます。最後に本市のスポーツが益々、隆盛の一途を辿り、中央のトップに躍り出ることを期待し、お祝いの言葉と致します。

平成15年7月1日



発刊に寄せて

浦添市体育協会
会長 与座 武治

戦後の混乱期に、郷土の復興再建に夢を託し、スポーツを通して村興しに力を注いでこられた先人の偉業が開花し、ここに、めでたく50周年の節目の年を迎えることができました。

1952年の創立以来、半世紀にわたり、市民の競技力向上並びに健康保持・増進に寄与しながら、スポーツの普及・発展に努めてまいりました。この間、本会に対しまして、格別なるご支援をいただきました歴代役員をはじめ関係各位に深く敬意と感謝を表します。

年間をとおして、多種多様な事業を展開する中で、平成13年から14年にかけて記念事業に必要な経費を捻出するため、資金造成ゴルフ及びボウリング大会等を開催し、予想を越える事業収益を上げることができました。

とりわけ、昨年は、県民大会においても13市郡中、男女総合4位に入るなど、50周年記念事業を迎えるに当たり、最良の年でもありました。

市民のスポーツに対する関心が高まる中で、50周年を契機に、本県を代表する選手の発掘と指導育成を図りながら、地域スポーツの振興に励んで参ります。

どうか、これからも、市民の皆様の本会に対するご理解・ご協力をお願い申し上げます。50周年の節目のごあいさつとさせていただきます。

平成15年7月1日



祝 辞

財団法人 沖縄県体育協会
会長 稲嶺 恵 一

このたび、浦添市体育協会におかれましては、創立50周年を迎えられ、浦添市体育協会50周年記念誌が発刊されますことは、本県の体育・スポーツの振興発展を図る上で誠に意義深いことであり、心からお祝い申し上げます。

貴協会は戦後、本県が混沌とした社会状況の中、昭和27年に結成されました。以来、幾多の困難を克服しつつ関係者の皆さまの並々ならぬご努力とご熱意によって数々の日本の頂点を極めた選手を輩出するなど本県の体育・スポーツの振興、また、時代を担う青少年に大きな自身と誇りを与えてくれました。

近年、都市化の進展、生活水準の向上、余暇時間の増大などに伴い、県民のスポーツ活動は活性化しており、健康増進や体力づくり、ゆとりと潤いのある生活の創造に大きな役割を果たしております。本県では、平成22年に全国高等学校総合体育大会の開催が予定されており、また、平成16年に国民体育大会第24回九州ブロック大会の本県開催に向けて、本県7月に沖縄県実行委員会の設立や選手強化の策定など開催準備に積極的に取り組んでいるところであります。

貴協会には、これまで多大のご協力を賜っているところでありますが、今後とも市民のスポーツ振興、普及発展にご尽力下さいますようお願い申し上げます。

終わりに、浦添市体育協会がこの輝かしい50周年を契機に、さらに飛躍発展するとともに関係各位の益々のご活躍とご健勝を祈念申し上げましてお祝いのごことばと致します。

平成15年7月1日



祝 辞

浦添市長 儀 間 光 男

浦添市体育協会が意義深い創立50周年を達成されましたことに、万感の思いを込めてお祝いを申し上げます。

このたびの50周年の事業展開は、貴重な歩みを掘り起すと同時に将来にわたる活動に寄与する内容となっていると拝察し、記念事業実行委員会の宮城清次郎委員長はじめ各委員及び事務局職員の取り組みを称えたいと存じます。

本市において、スポーツは住民生活と密接して展開されてきました。もとより、この活動において大きな貢献を果たしてこられたのは、浦添市体育協会でありませんが、終戦直後においては、当時の村青年会が結束して体育大会を開催したことがキッカケと弾みとなり、優秀選手の輩出やその後の村体協発足にもつながっていきました。

当時はコザ地区村対抗陸上競技大会が定期的で開催されており、このときに浦添は連続8回の優勝に輝くという実績も残しております。

そうした中、地域の代表がいよいよ村体育協会設立に向けた準備を進め、村青年会が進めていた各字対抗の陸上競技大会を、昭和28年(1953年)の第7回から村体育協会で開催して実施してから、本格的な活動を開始し今日に至る歩みを重ねてきました。

陸上王国「うらそえ」として名声を高めた実績から、バレーボール、バスケットボール、そしてハンドボール競技等へと活動種目を増やし、また県の駅伝大会や体育大会の各種種目においても競技力を高め、県を代表する優れた選手も輩出するに至った経緯が、浦添市体育協会の歴史です。さらに、この間においては、各種スポーツ大会を実施し、優れた指導者の育成、少年スポーツクラブの養成に尽くし、毎年選手や指導者の表彰を行うなど、内容豊かな活動を進めてきました。改めて歴代の会長をはじめとする役職員、並びに多くの会員皆様に対し、敬意を表し感謝を申し上げます。

市としましては、現在競技スポーツ及び生涯スポーツの振興に尽くしております。市の陸上競技場が全天候型に改修されましたが、本年はこの陸上競技場の第三種公認を受け県民体育大会を誘致することとしております。また、市民待望の温水利用型健康運動施設が本年度中にオープンいたします。こうした施策・事業とも相まって、今後とも浦添市体育協会の活動が益々充実していくことを念願してやみません。

終わりにになりましたが、半世紀にわたる活動歴の中で優れた功績を残された多くの方々の栄誉に敬服と称賛を送るとともに、浦添市体育協会の限りないご発展と関係各位の益々のご健勝、ご活躍をお祈り申し上げまして祝辞といたします。

平成15年7月1日



祝 辞

浦添市議会議長 川 上 宰 夫

浦添市体育協会の創立50周年記念誌が発刊されるにあたり、市議会を代表してお祝いのご挨拶を申し上げます。

戦後間もない、昭和27年に設立された浦添村体育協会が、50年の節目を祝い、ここに記念誌が発刊されますことをお喜び申し上げます。

戦後の混乱のなか、元の居住区へ戻った村民の皆様は、徐々に落ち着きを取り戻し、戦後復興と青少年の体力づくりを目指して、スポーツ振興に取り組みされました。なかでも、城間青年会がリードする形で体育大会を主催し、以後、村青年会が各字対抗陸上競技大会を開催いたしましたことは、その後の体育協会設立に大きく寄与したものと、当時の青年会の皆様が復興にかけた情熱に深甚なる敬意を表するものでございます。

体育協会設立以前から陸上王国を自負しておりましたが、その活躍がバレーボール、バスケットボール、ハンドボール、野球競技など他の種目の基礎となつて、本市競技団体の活躍はめざましいものがございます。特にハンドボールは、小学校、中学校、高等学校といずれもわが国のトップクラスであり、今や自他ともに認めるハンドボール王国と言われるようになりました。

また、県民体育大会では男女総合5位がしばらく続きましたが、昨年は4位まで上昇するなど、創立50周年を迎えて、再浮上の兆しが見えてきたことは大変喜ばしい限りでございます。

これまで、体育協会は多くの優秀な競技者や指導者を育ててこられました。そういう方々が、選手としてあるいは指導者として、各種競技で頑張っておられることが、本市の活性化の大きな要因であり、各競技大会での活躍は市民に大きな喜びとやる気を与えてくれるものです。

その意味合いでも、体育協会の果たす役割は大きく、今年本市で開催される県民体育大会の陸上競技においては、一つでも多くの種目で上位入賞を果たし、総合ランクを上げていただくことを期待するものでございます。

結びに、創立50周年を迎えた浦添市体育協会のますますの発展と、会長はじめ役員の皆様のご活躍と、ご健康を祈念申し上げましてお祝いのご挨拶といたします。

平成15年7月1日



あいさつ

浦添市教育委員会
教育長 大盛 永 意

戦後の混迷した世相の中で、人々の意気と希望を燃やすために、幾多の困難を乗り越え、組織の活性化とスポーツの普及向上に努められ、名実ともに市民スポーツの英知の結集となられた貴協会が、このたび、めでたく創立50周年の節目の年を迎えられましたことに対しまして、心からお祝い申し上げます。

今日までの輝かしい業績を通して、本市のスポーツ振興と競技力向上に果たされた功績は極めて大きなものがあり、関係者各位のこれまでのご努力に対しまして、心から敬意を表する次第です。

さて、近年、週休2日制の定着や余暇時間の増大などにより、市民の間にもスポーツが定着し、「スポーツの活性化・日常化」が急速に進んでまいりました。

体育・スポーツは心身の発達を促し、健康の保持増進の上からも大切な役割を担っています。とりわけ、貴協会の日ごろの活動は、まさに市民の健康づくりに大きく貢献するものであり、またその実現のためにも中心的役割を担っていただいているところです。

わが国は、いま、人生80年時代といわれ、市民も生涯スポーツに大きな関心を寄せております。こうした状況を背景に、市民の健康保持・増進を目的としたスポーツの推進、あるいは競技力向上を目的とした大会等の開催は急務となっており、貴協会の果たす役割は、ますます重要なものとなっております。

ご承知のように、本市では現在、市民が健康で快適な日々が送れるようにとスポーツ施設の整備拡充に努めているところであり、陸上競技場の全天候型工事をはじめ温水利用型施設も本年度中にオープンする予定で、その準備に向けて奔走しているところです。どうか、このたびの50周年記念事業を契機として、貴協会が更に充実・発展されますよう祈念申し上げるとともに、半世紀における諸々の活動の中でご尽力いただきました関係者各位に、あらためて厚くお礼申し上げ、ごあいさつとします。

平成15年7月1日